



平成27年7月10日  
株式会社 中国銀行

知財活用ビジネス支援分野における  
<TSUBASA(翼)プロジェクト参加行との連携事業>の実施について

当行では、千葉銀行(頭取 佐久間 英利) 東邦銀行(頭取 北村 清士) 第四(だいし)銀行(頭取 並木 富士雄) 北國銀行(頭取 安宅 建樹) 伊予銀行(頭取 大塚 岩男)の6行(以下、「TSUBASA(翼)プロジェクト 1参加行」)は、平成27年7月10日(金)より、知財活用ビジネスの分野において、新たな連携を開始することとしましたので、お知らせします。

TSUBASA(翼)プロジェクト参加行が、それぞれの営業地域内の中小企業等が保有する特許情報を「企業特許レポート 2」により見える化し、各行間で情報を共有することで地域を越えた中小企業の既存事業の拡大、新規事業の創出を支援します。また、「企業特許レポート」を融資をおこなう際の審査材料の一つとして活用し、企業の事業性評価に向けた取組みを強化します。

地域の中小企業が保有している特許等の知財活用は、自社の事業範囲に限定されがちであり、活用されずに埋没しているケースもあります。また、地域金融機関単独では、ビジネスマッチング等の支援の機会も多くの場合、自行の営業地域内に留まってしまいます。

今回の連携事業は、地域の壁を越えて中小企業の知財の活用範囲を広げることを目的としております。また、地域の大学、研究機関とも広域でコラボレーションすることにより、中小企業と大学間での共同研究、技術マッチングなど新たな事業価値が生まれることで、地域の産業が活性化され、雇用の創出、経済の発展などの連鎖が期待できます。

国立大学法人岡山大学、国立大学法人香川大学、学校法人加計学園岡山理科大学、岡山県立大学、公益財団法人岡山県産業振興財団ほか、TSUBASA(翼)プロジェクト参加行営業エリア各地の大学、地方公共団体、支援機関等とも協力し、今後、様々な形でコラボレーションを図っていく予定です。

TSUBASA(翼)プロジェクト参加行は、これからも相互の連携を通じて、業務の高度化とお客さまにとって価値あるサービスの提供を目指してまいります。

### 1. TSUBASA(翼)プロジェクトについて

平成20年3月にスタートしたシステム共同化を検討するプロジェクトで、現在6行が参加しています。基幹系システムや各種サブシステムの共同化のほか、システム以外の分野においても人材交流や情報交換などを実施しており、様々な連携について協議を進めています。

### 2. 「企業特許レポート」について

お客さまが保有する特許について、株式会社三菱総合研究所(代表取締役社長 大森 京太)が特許庁に登録されている公開情報等をもとに、その内容や同様の特許を有する競合企業、経済価値等をまとめたレポートとなります。

以上

# 知財活用ビジネス支援分野におけるTSUBASA（翼）プロジェクト参加行との連携事業について

## 【事業概要】

TSUBASA（翼）プロジェクト参加行（千葉銀行、東邦銀行、第四銀行、北國銀行、中国銀行、伊予銀行）が、中小企業等が保有している特許の情報を「企業特許レポート」によって見える化し、各行間で情報を共有するほか、各地域の大学、研究機関ともコラボレーションすることにより、地域を越えた既存事業の拡大、新規事業の創出を支援します。また、「企業特許レポート」を融資をおこなう際の審査材料の一つとしても活用し、企業の事業性評価に向けた取組みを強化します。

## 【スキーム図】

